

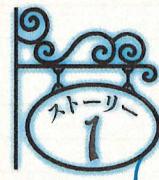
岩見沢で 農業という人生を選ぶ

ハナニ

ここから始まるファーマーズ・ストーリー



夢をカタチにする、3人のストーリー



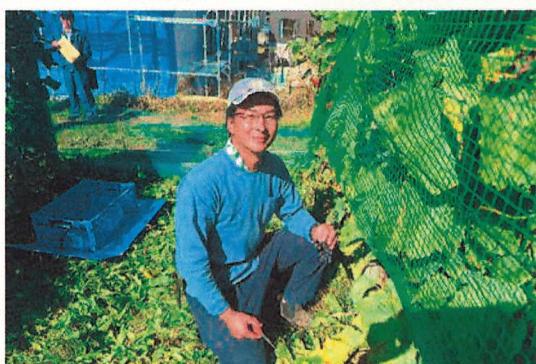
夢に向かう上田さん、
この丘で、岩見沢の風を感じるワインを



上田さんと親方の近藤さん

■ 岩見沢という土地のポテンシャル

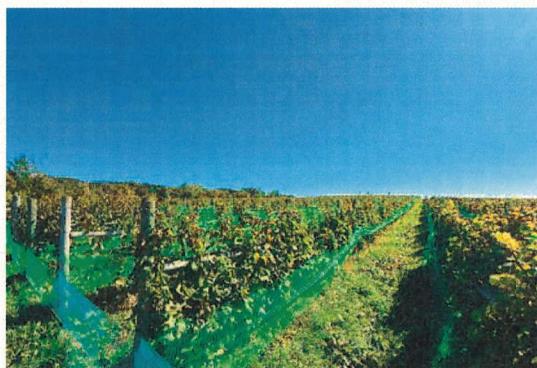
10Rで働く中で、上田さんが特に驚いたのが“岩見沢産ブドウの品質の高さ”。昼夜の寒暖差や丘陵地形による水はけの良さが、果実の糖度や香りを高めます。「この土地なら、理想とする高品質なワイン用ブドウを育てられる」その確信が、岩見沢で独立を目指す決意につながりました。また、近隣の農家から声をかけられ、他の作物栽培にも挑戦。地域の農業者が互いに助け合う“温かなコミュニティ”があることも、大きな魅力だと感じています。「このつながりこそが、岩見沢の農業の強さ」—そう語る表情には、確かな誇りがあります。



収穫作業中の上田さん

■ ワインとの出会いが人生を変えた

20代後半のある日、空知地域をめぐるワイナリーで飲んだ一杯のワイン。その味わいの奥深さと、土地の個性がじむ香りに衝撃を受けた上田さん。「こんなにも人と自然が一体になれる仕事があるのか」と感じた瞬間でした。その後、ブドウ栽培や醸造に取り組む先輩たちのもとを訪ね、新規就農を志す上でのアドバイスを受ける中で、合同会社10Rを紹介されました。入社後は、苗木の植え付けから剪定、収穫、醸造まで、ブドウとワインづくりのすべてを経験。「自然と向き合い、四季を通してブドウを育てることは、まるで人生そのもの」と語ります。



ワイン用ブドウ畠

■ 目指すのは、自らのワイナリー

現在研修中の上田さんの目標は、自社ワイナリーの設立。ブドウ10トン（ワインボトル約1万本分）の生産を目指し、研修先である近藤ヴィンヤードで着実に準備を進めています。10Rで築いた酒販店・飲食店との信頼関係もあり、「独立したらぜひ入れたい」との声も多く届いています。「自分の畠のブドウが、グラスの中で香り立ち、誰かの笑顔につながる—そんな瞬間のために、毎日の作業を積み重ねています。」

上田さんの農業メモ

- やりがい：努力の結晶であるワインをお客様が楽しむ瞬間。
- 楽しさ：畑でブドウの樹が健やかに育つ姿を見るとき。
- 大変さ：天候・病害虫など自然の影響を受けること。
- 感謝：研修中は岩見沢市から生活費・家賃支援を受けることができ、安心して研修に集中。

新規就農を考えている方へメッセージ



農業は、決して簡単ではありませんが、努力が日々の成果として実感できる仕事です。
また、真剣であればあるほど、やりがいや面白さを感じることができます。



坂上さん、
家族の絆で未来を築く



ご夫婦で作業しています

サラリーマン時代に培った営業経験と行動力を武器に、農業の世界へ。現在は、ミニトマト・キュウリ・カボチャを中心に、栗沢の豊かな土で栽培しています。

■ 手をかけた分、野菜が応えてくれる。

作物を我が子のように見守りながら、毎日が挑戦の連続です。加工品としてつくるトマトジュースは、甘く濃厚で大人気。お客様に喜んでもらえる瞬間が、坂上さんのエネルギー源です。家族の協力を得ながら、農繁期は朝から夜まで作業が続くことも。それでも、「やり切った日ほど気持ちがいい」と笑います。「農業は自然と向き合う厳しさもあるけれど、それ以上に“生きている実感”がある」と語ります。



お子さんも作業を手伝います

さかがみfarm

住所：岩見沢市栗沢町上幌3137
営業：6月下旬～10月上旬／10:00～17:00
電話：080-1898-0792
主要作物：ミニトマト・キュウリ・カボチャ
加工品：トマトジュース
お客様の声：「トマトジュースが本当に甘くてびっくり！」
「子どもが野菜を残さず食べてくれるようになった」



おしゃれなカフェ

新たな挑戦、
能田さんのカフェストーリー



作業は2人で



ご夫婦で就農

広農園 (nagi no en)

住所：岩見沢市栗沢町宮村214-3
電話：0126-35-1281
Instagram：@naginoen.noda
営業：不定休（電話でご確認ください）
販売：季節の野菜・古道具・トマトジュース／カフェ営業あり
お客様の声：「トマトジュースの概念が変わりました」「窓から見える畑の景色に癒される」

全国有数のスマート農業先進地である岩見沢には、新しいことに挑戦し続ける多くの農家がいます。このまちには、あなたの挑戦を支える制度と仲間がそろっています。



遠隔監視制御による無人作業



遠隔監視センター



無人作業

就農までの流れ

01

見極め体験研修 (6か月以内)

- 10件ほどの農家で、さまざまな作物や作業を経験することができます
- 自分が農家としてやっていけるのかを見極めるための研修です

02

実践的農業研修 就農準備 (2年間、10月～翌々年9月)

- 受入農家のもとで、栽培技術や農業経営等の研修、作物栽培など実践的な研修を行います。

03

就農

- 運転資金や農用地賃借料、住宅取得などの支援があります。
- 5年間、岩見沢市、農協、普及センター、農業委員会、金融機関などが農地へ伺い営農の相談に乗るなど、バックアップ体制が充実しています。

お問い合わせ

岩見沢市農政部農務課農業経営係

〒068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

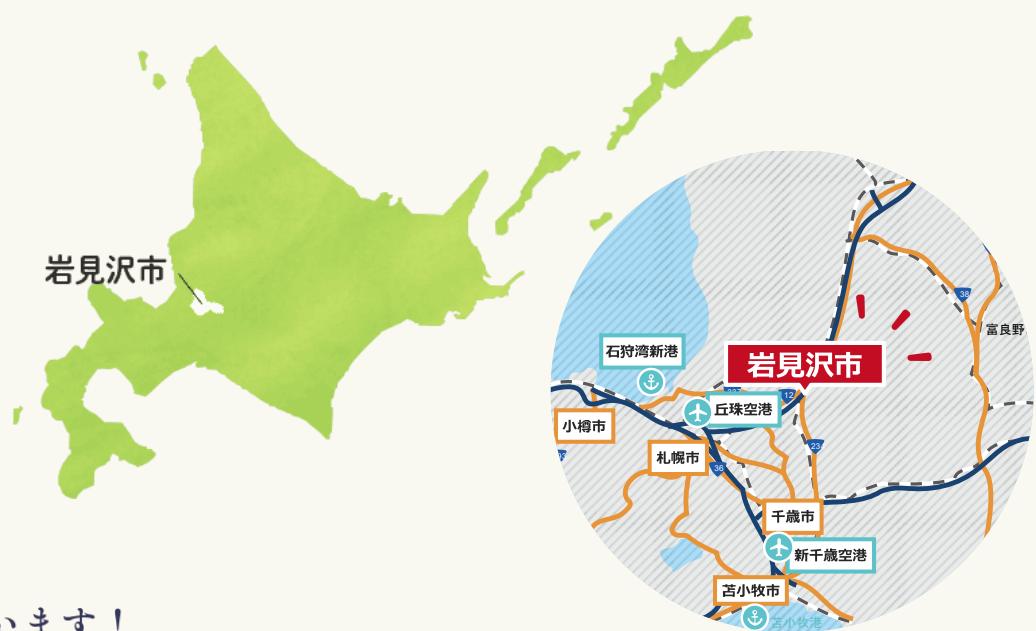
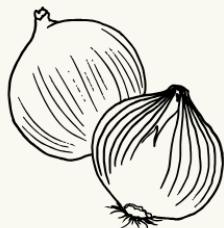
TEL : 0126-35-4467 Mail : shuno_support@city.iwamizawa.lg.jp

WEB : <https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/>



詳しい内容はこちちら

岩見沢市 新規就農支援制度



全国一のスマート農業先進地の岩見沢市では、
どんなことにもチャレンジする農家がたくさんいます！
農業を始めて仲間になりませんか。



【お問合せ先】

岩見沢市農政部農務課農業経営係

〒068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

✉ shuno_support@city.iwamizawa.lg.jp

☎ 0126-35-4467

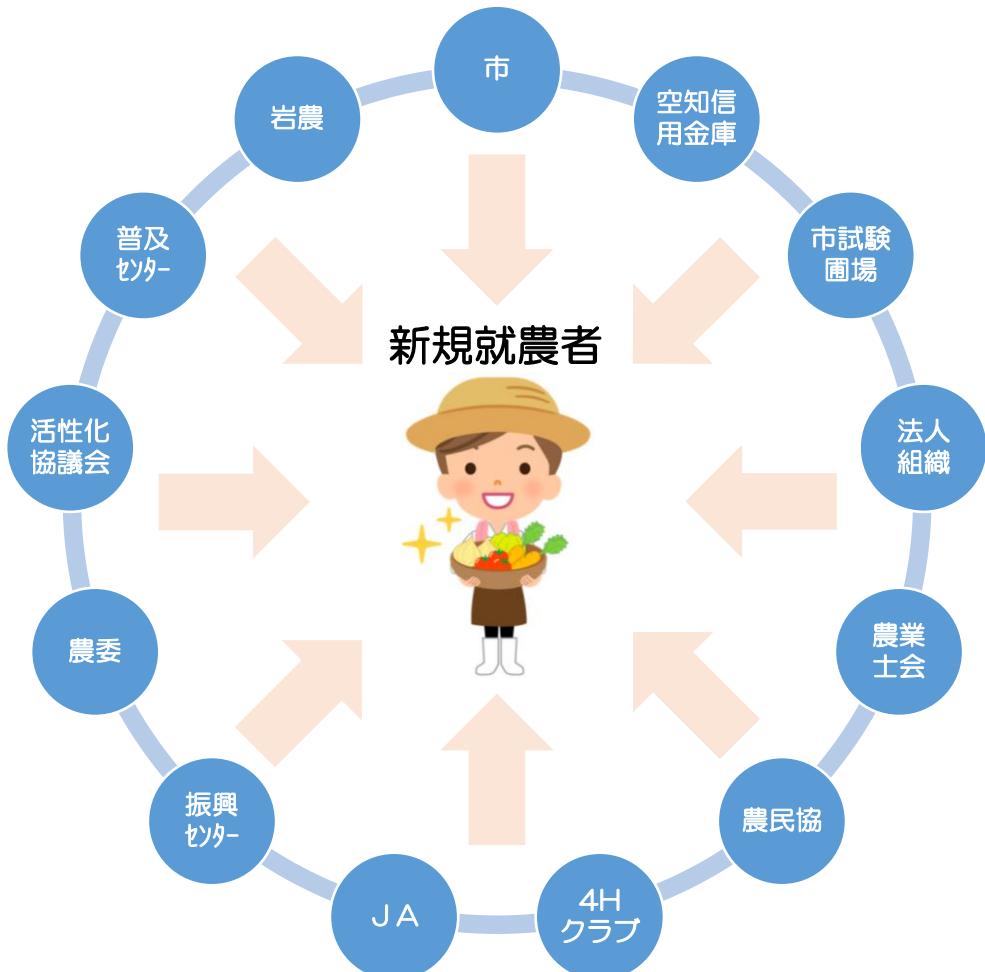


●岩見沢市の支援体制と内容

岩見沢市では、農家を志す方々を支援するため、関係機関・団体と連携して「岩見沢市農業後継者対策協議会」を設置し、相談、体験・研修、就農、経営安定のステップに応じた支援を行っています。

新規就農時の年齢が45歳未満（農業に3年以上従事していた場合などは50歳未満）で、農業経営者となることに強い意欲を持っている方が支援の対象となります。

岩見沢市農業後継者対策協議会



支援内容

STEP1 相談支援

- 新規就農に向けた疑問や不安を解消します。
岩見沢市農務課の窓口や、道内外で開催される就農相談会等で、研修制度、住宅、農地に関する疑問などについてご相談ください。

STEP2 体験・研修支援

(研修支援)

- 2泊3日 → 短期農業体験研修
- 6ヶ月以内 → 見極め体験研修
- 2年間 → 実践的農業研修
(金銭的な支援)
- 新規就農サポート事業
→ 生活費、住宅、資格取得 など



STEP3 就農支援

- 農地、住宅などを一緒に探します！
(金銭的な支援)
- 新規参入支援事業
→ 農地・住宅取得、圃場整備、資材導入 など

STEP4 経営安定支援

- 営農相談
- 巡回指導 など



●具体的な支援内容について（体験・研修）

メニュー		目的・内容	新規学卒者・Uターン者			新規参入者	
体験	研修		親元就農	独立就農	法人就農	独立就農	法人就農
2泊3日 短期農業体験研修	6ヵ月以内 見極め体験研修 (4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> 農作業の体験を通して、農業に対する理解を深めます。 希望する作物を1日半体験（9時頃～16時頃） 	<input type="radio"/>				
2年間 実践的農業研修 (10月～9月)		<ul style="list-style-type: none"> 約10件ほどの農家を2週間単位で回り、さまざまな作物や作業を経験することができます 自分が農家としてやっていけるのかを見極めるための研修です 作りたい作物が決まっていない方も、複数作物の作業を実際に経験することができます 				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

就農後は、営農技術の向上や経営安定のため巡回指導(月1回)を実施！



※上記研修制度は、これまで農業に全く触れてこなかった方を想定した研修内容です。

●具体的な支援内容について

①新規参入者

区分	内容（補助率等）	在学中	見極め 6ヶ月	実践的 2年間	就農後（1～5年目）				
					1	2	3	4	5
就農前 《市の支援》	短期研修支援	1研修当たり：上限6万円	※1	回数制限無 1回限り					
	大型免許取得支援	入学金相当額：上限4万3千円							
	就農技術習得支援	月額：10万円（年間120万円）			●	●			
	家賃助成支援	月額：家賃の2/3以内、上限3万円			●	●			
就農前 《国の支援》	就農準備資金	月額：12.5万円（年間150万円）	※1	回数制限無 1回限り					
	大型特殊免許取得支援	1免許当たり：1/2以内、上限5万円			●	●			
	共済保険掛金助成	2/3以内			●	●			
就農後 《市の支援》	農用地賃借料支援	年額：1/2以内、上限20万円	※1	回数制限無 1回限り	●	●	●	●	●
	公租公課相当額支援	年額：固定資産税相当額			●	●	●		
	経営安定支援	月額：10万円（年間120万円）			●	●			
	住宅取得等支援	住宅の購入又は増改築費：1/2以内、上限50万円							
	ビニールハウス導入支援 ※2	資材、機械等の購入費：1/2以内、上限150万円							
	生産条件整備支援 ※2	圃場整備の費用：1/2以内、上限100万円							
就農後 《国の支援》	農用地取得等支援	取得価格：1/5以内、上限150万円	※1	回数制限無 1回限り					
	経営開始資金	月額：12.5万円（年間150万円）			●	●	●		
	経営発展支援事業	トラクター等購入費：3/4以内、上限 375 万円							
	世代交代円滑化事業	トラクター等購入費：3/4以内、上限 375 万円							
	青年等就農資金貸付	資金貸付							融資限度額3,700万円

※1 見極め体験研修中は、受入農家から給料が支払われます。

※2 国の経営発展支援事業が採択となった場合は対象外。

②新規学卒者・Uターン者

市の支援	就農進学支援	年額：上限12万円	4年以内					
	短期研修支援	1研修当たり：上限6万円						回数制限無
	大型免許取得支援	入学金相当額：上限4万3千円						1回限り
国の支援	世代交代円滑化事業	トラクター等購入費：3/4以内、上限 375 万円					1回限り	

●就農を目指す上での不安要素について

・農地の確保について

岩見沢市は北村・岩見沢・栗沢の3地区に分けられることができ、新規参入者は栗沢の中山間部（上幌・茂世丑等）で就農することが多いです。研修中の段階で、希望通りの農地を取得できるように、市や農業委員、受入農家で調整を行っています。これまでの新規参入者は研修終了後間もなく農地の取得ができますが、必ずしも希望どおりの農地を取得出来るのは限りません。

・資金調達について

岩見沢市で農業を始めるには、見極め体験研修に申し込む段階で、自己資金500万円あることが一つの要件となっています。また、認定新規就農者となった場合は、青年等就農資金の対象となり、施設・機械や資材の購入等に活用できます。

・作物について

岩見沢市ではどの作物でも（酪農以外）受け入れを行っていますが、基本的には小さい面積で、高収益な作物（主にミニトマト、キュウリ）から始めることを推奨しています。米・麦・大豆などの土地利用型農業が主流ではありますが、費用面などから新規参入のハードルが高いです。

また、醸造用ブドウを用いたワインでの就農については、農地の要件・費用面・技術面などから新規参入のハードルが高いです。

・販売先について

新規就農者は実績がないため、飲食店等に飛び込み営業をしても相手にされないことがほとんどのため、初めのうちは主にJAに出荷しつつ、親方や知り合いの農家等を通じて徐々に人脈を築いていき、独自の販売ルートを確保することが大切です。

・どれくらい稼げるか

新規参入者全体の農業所得額は208.8万円（R6調査時点）。概ね100万以上～300万未満が目安となります。

●岩見沢市の概要

・人口 (R7.7現在)

73,239人 (高齢化率 : 38.65%)

・気象概要 (R6)

- (1)平均気温 : 9.3°C
- (2)最低気温 : -14.5°C
- (3)降雪深さ : 113cm (R3 : 205cm)
- (4)最深積雪 : 606cm (特別豪雪地帯)

・面積

481.02km² (うち耕地面積197km² : 41%)

・農業 (R5)

主要農作物の作付面積順位

- (1)水稻 : 全道3位 (全国41位)
- (2)小麦 : 全道4位 (全国4位)
- (3)大豆 : 全道3位 (全国4位)
- (4)たまねぎ : 全道4位

・観光、まつり

(1)いわみざわバラ園

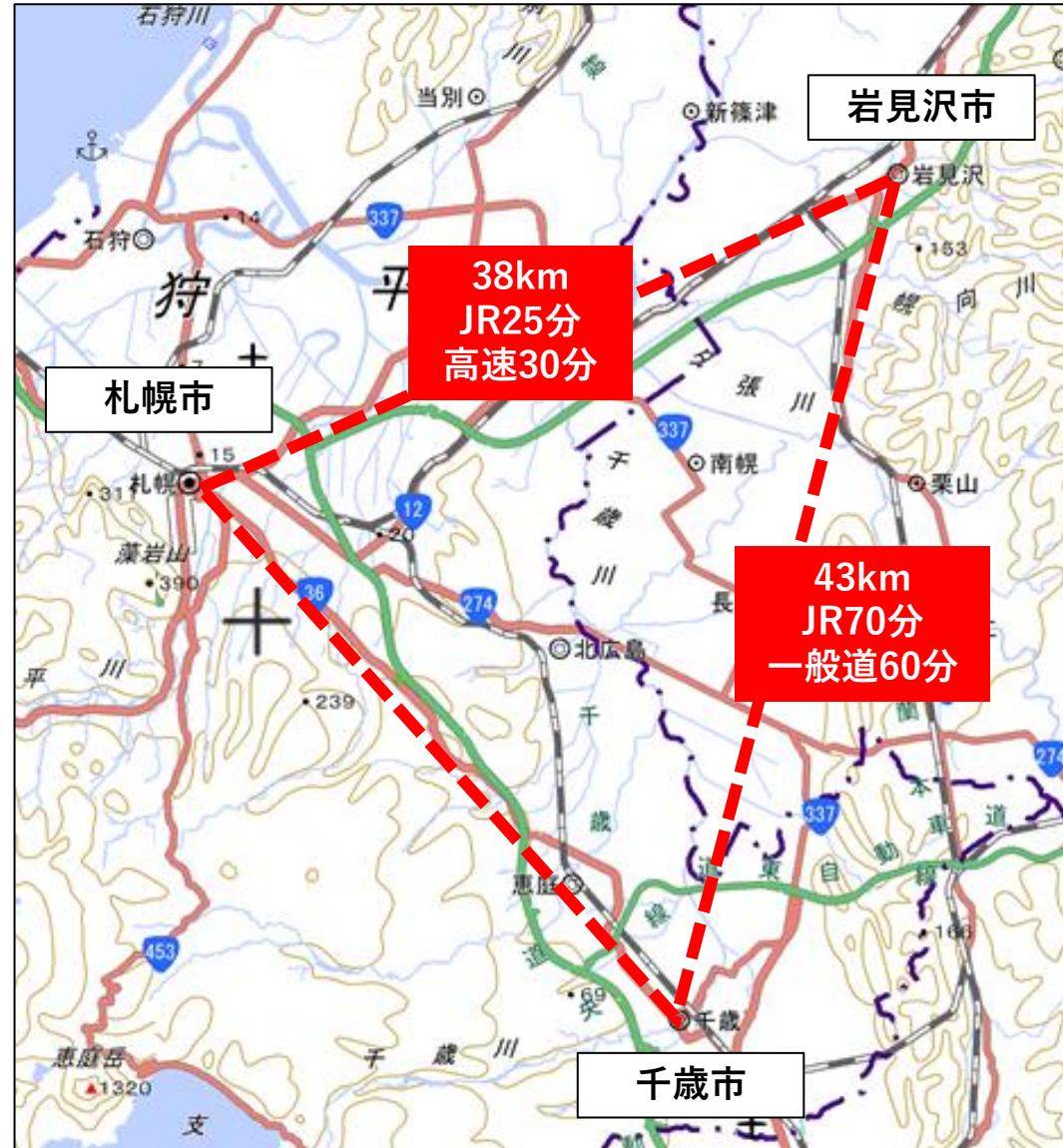
- ・敷地 : 4ha
- ・品種 : 630種
- ・株数 : 8800株

(2)JOIN ALIVE (7月)

- ・来場者数 : 約4万人
- ・アーティスト数 : 69組

(3)百餅まつり (9月)

- ・特大臼 (直径2.1m、重量4t) による餅つき



●岩見沢市の子育て・医療について

○ 子育て

●出産

空知管内で分娩できる医療機関は2病院で、そのうちの一つが岩見沢市立総合病院。安心して出産・子育てできる環境

●産前産後ヘルパー

妊娠から産後1年までの間において、家事や育児が困難な子育て家庭を支援するため、ヘルパーを20回まで無料で派遣

●出産・子育て応援事業

妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援の実施と併せて、子育て支援サービスの利用などにかかる負担軽減を図るため、経済的支援を実施し、妊娠届出時と出産後にそれぞれ5万円を給付

●子どもの医療費用の助成

高校生等までの方を対象に入院・通院の医療費の無料化を実施

●第2子以降の保育料等の無料化

認可保育所等を利用する家庭の第2子以降の保育料を無料化

●屋内あそび場「あそびの広場」

約1,250平方メートルの屋内型の遊び場「あそびの広場」

○ 医療

岩見沢市立総合病院は、南空知地区唯一の2次救急指定病院として急性期医療や救急医療を担う総合的な診療体制を整備。

